

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成28年2月12日 (2016.2.12)

【公表番号】特表2015-503820(P2015-503820A)

【公表日】平成27年2月2日 (2015.2.2)

【年通号数】公開・登録公報2015-007

【出願番号】特願2014-549164(P2014-549164)

【国際特許分類】

F 2 1 S 2/00 (2016.01)

F 2 1 V 23/00 (2015.01)

F 2 1 V 7/04 (2006.01)

F 2 1 V 7/22 (2006.01)

H 0 1 L 33/60 (2010.01)

【F I】

F 2 1 S 2/00 4 9 8

F 2 1 V 23/00 1 1 3

F 2 1 S 2/00 4 9 4

F 2 1 S 2/00 4 9 7

F 2 1 S 2/00 4 9 3

F 2 1 V 7/04 5 0 0

F 2 1 V 7/22 2 3 0

F 2 1 V 7/22 2 0 0

F 2 1 V 23/00 1 4 0

H 0 1 L 33/00 4 3 2

【手続補正書】

【提出日】平成27年12月16日 (2015.12.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

出力表面を備えるキャビティと、
前記キャビティの中へ光を注入するために配設された 1 つ以上の光源と、
前記キャビティ内に少なくとも部分的に配設された光学素子と、
前記光学素子に光学的に結合されたセンサと、を備え、
前記光学素子が、前記 1 つ以上の光源からの光の第 1 部分を前記出力表面に指向させ、
前記 1 つ以上の光源からの光の第 2 部分を前記センサに指向させるように構成され、
光の前記第 2 部分が光の前記第 1 部分から離れた方向に指向する、光学装置。

【請求項 2】

前記キャビティが、前記出力表面に実質的に平行に配設される背面反射体を更に備える、請求項 1 に記載の光学装置。

【請求項 3】

前記キャビティが、前記出力表面に実質的に直交するように配設される少なくとも 2 つの側面反射体を更に備える、請求項 1 に記載の光学装置。

【請求項 4】

所望の光学的特徴を有する光を生成する方法であって、

出力表面を備えるキャビティと、
前記キャビティの中へ光を注入するために配設された１つ以上の光源と、
前記キャビティ内に少なくとも部分的に配設された光学素子と、
前記光学素子に光学的に結合されたセンサと、を備える光学装置を準備するステップであって、

前記光学素子が、前記１つ以上の光源からの光の第１部分を前記出力表面に指向させ、
前記１つ以上の光源からの光の第２部分を前記センサに指向させるように構成される、光学装置を準備するステップと、

光の前記第１部分の所望の第１の光学的特徴を選択するステップと、

前記センサを使って、光の前記第２部分の第２の光学的特徴を検出するステップと、

前記１つ以上の光源からの注入光を調整して、光の前記第１部分に前記所望の第１の光学的特徴を与えるステップと、を備える、方法。

【請求項５】

光の前記第２部分が光の前記第１部分の電力の１０％以下の電力を含む、請求項１に記載の光学装置。